

2021 年度 所員業績リスト

■ 浅野倫子

< 論文 >

Root, N., Asano, M., Melero, H., Kim, C. Y., Sidoroff-Dorso, A. V., Vatakis, A., Yokosawa, K., Ramachandran, V., & Rouw, R. (2021). Do the colors of your letters depend on your language? Language-dependent and universal influences on grapheme-color synesthesia in seven languages. *Consciousness and Cognition*, 95, 103192, 1-15. doi: 10.1016/j.concog.2021.103192 (査読あり)

< 依頼講演 >

浅野倫子 (2021). 共感覚の文字と色はどう結びつくか. 日本語用論学会メタファー研究会「マルチモダリティと言語」, オンライン (2021 年 12 月 28 日).

< 学会発表 >

櫻井晴子・奥村安寿子・北村柚葵・北洋輔・浅野倫子 (2021). 幼児における Ordinal Linguistic Personification (OLP) 傾向の調査. 日本基礎心理学会第 40 回大会, 大阪大学 (オンライン開催) (2021 年 12 月 3-5 日).

一ノ瀬大輔・田島夏与・浅野倫子・横澤一彦 (2021). 主体的な情報取得が環境評価に与える影響の検討. 環境経済・政策学会 2021 年大会, オンライン開催 (2021 年 9 月 25-26 日).

浅野倫子・横澤一彦・一ノ瀬大輔・田島夏与 (2021). 景観の 360°画像提示が景観に対する印象と経済的価値評価に及ぼす影響. 日本心理学会第 85 回大会, 明星大学 (オンライン開催) (2021 年 9 月 1-8 日).

浅野倫子 (2021). 色字共感覚: 学習と転移 (公募シンポジウム SS-041「共感覚研究の新展開」), 日本心理学会第 85 回大会, 明星大学 (オンライン開催) (2021 年 9 月 1-8 日) 【話題提供】

■飯田敏晴

< 書籍 >

久田満・飯田敏晴(編) (2021) コミュニティ心理学シリーズ1 心の健康教育 金子書房

< 書評 >

飯田敏晴 (2021) 書評『摂食障害のすべて』高木洲一郎(日本評論社四六判 208 頁)こころと社会
52(3)115-116.

< 論文 >

飯田敏晴・木村真人・水野治久(2022) 企画趣旨:「ウイズコロナ時代における求められるコミュニティ心理学の叡智」の特集にあたってコミュニティ心理学研究 25(2), 97-102. (依頼論文、査読なし)

飯田敏晴・板東充彦・葛西真記子 (2022) ウイズコロナ時代における事例研究会の試み(特集 ウイズコロナ時代に求められるコミュニティ心理学の叡智)コミュニティ心理学 研究 25(2), 130-151.
(依頼論文、査読なし)

< 学会発表 >

本田真大・中村菜々子・永井智・木村真人・飯田敏晴・水野治久(2021)援助要請研究に基づくコミュニティ・アプローチの可能性 日本心理学会第 85 回大会 (2021 年 9 月 1 日-8 日明星大学) 公募シンポジウム【指定討論者】

木村真人・水野治久・永井智・本田真大・飯田敏晴 (2021). 大学生のオンラインカウンセリングへの援助要請の特徴とその関連要因 日本コミュニティ心理学会第 24 回大会 (2021 年 9 月 18 日-19 日 オンライン開催)

廣瀬友城・中西健太・飯田敏晴・諸井文子・堀場昌英・太田康夫 (2021). 高次脳機能障害の進行により一般病棟への入院継続が困難となったが、多職種との連携により外来治療 継続が可能となった HIV 関連認知障害の一例. 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2021 年 11 月 21 日-23 日 グランドプリンスホテル高輪)

■江川隆男

< 著書 >

江川隆男『残酷と無能力』、月曜社、2021年8月、全376頁(論文集)

< 書評 >

江川隆男「〈仮面なきニーチェ〉の可能性の中心(ブライアン・ライター『ニーチェの道徳 哲学と自然主義——『道徳の系譜学』を読み解く』、大戸雄真訳、春秋社、2022年)」、『読書人』、3432号、2022年3月18日

■大石幸二

< 論文 >

和田恵・大石幸二(2021). 高機能自閉スペクトラム症児における文脈分析課題を用いた心情推察の予備的検討 人間関係学研究, 26(1), 41-46. (2021年12月20日発行)(査読あり)

大石幸二(2021). 乳幼児における動きの同期に関する文献調査と実証研究の課題 人間関係学研究, 26(1), 47-55. (2021年12月20日発行)(査読あり)

和田恵・大石幸二(2021). 高機能自閉症児における命題的心理化の促進—社会的文脈を表す絵カードの開発— 発達研究, 35, 85-94. (2021年9月14日発行)

大石幸二(2021). 保育所・幼稚園における巡回相談と早期発達支援 発達障害研究, 43(2), 149-152. (2021年8月31日発行)

大石幸二(2021). 自閉スペクトラム症児の精神的健康を高めるには—唾液コルチゾール濃度を指標とする研究の動向— 特殊教育学研究, 59(1), 47-57. (2021年5月31日発行)(査読あり)

< 著書 > (翻訳を含む)

大石幸二(2021). 地域における多職種連携の視点からの包括的支援. 神尾陽子編著, 発達障害支援・特別支援教育ナビ: 発達障害のある子のメンタルヘルスケア—これからの包括的支援に必要なこと—. 金子書房. 60-66頁(2021年8月31日刊行)

＜学会発表＞

渡邊孝継・竹森亜美・坂本真季・和田恵・木下愛・荻野梨紗子・大石幸二(2021). 自閉スペクトラム症児の会話能力の促進—タイプ・トークン比による「他者に伝わりやすい説明」の検討— 日本人間関係学会第29回全国大会(聖カタリナ大学;オンデマンド開催), 43-49.

大石幸二・小関俊祐・戸ヶ崎泰子・佐々木恵・門田光司・神尾陽子(2021). 公認心理師による教育分野におけるエビデンスに基づく発達支援 日本発達障害学会第56回研究大会(鹿児島大学;オンライン開催・ライブ). 自主企画シンポジウム. 【企画者】

神尾陽子・小林潤一郎・奥野正景・大石幸二・原口英之・外岡資朗・肥後祥治(2021). 地域の発達障害支援における多職種連携シリーズ第4弾:多職種連携支援の観点から今後の成育医療の役割を問う 日本発達障害学会第56回研究大会(鹿児島大学;オンライン開催・ライブ). 学会企画シンポジウム. 【話題提供者】

竹森亜美・大石幸二(2021). 発達障害児の書字のつまずきの評価基準の検討—運筆課題を実施した個別事例の結果整理から— 日本特殊教育学会第59回大会(筑波大学;オンライン開催・ライブ). ポスター番号 O-0308.

原洋平・下山真衣・小林愛・平方素樹・大石幸二(2021). 知的障害児にとって意義のある交流及び共同学習のあり方 日本特殊教育学会第59回大会(筑波大学;オンライン開催・オンデマンド). 自主シンポジウム49. 【指定討論者】

■小口孝司

＜学術論文＞(全て査読あり)

Miyakawa, E. & Oguchi, T. (2022). Family tourism improves parents' well-being and children's generic skills. *Tourism Management*, 88, pp.104403.

Kawakubo, A., & Oguchi, T. (2021). Happy Memories: Improved Subjective Happiness through Vacation Recollection. *Tourism Analysis: An Interdisciplinary Tourism & Hospitality Journal*, 26, 33-39.

小口孝司・山口一美・長田悠希 (2022). コロナ禍におけるマイクロツーリズムの観光動機と観光地選択の関連 日本国際観光学会論文集, 29, 77-84.

<学会発表(国際学会)>(査読あり)

Kawakubo, A., & Oguchi, T. (2021). Effects of Leisure Activities on Well-being – Measurement of Well-being Using Psychological and Physiological Indicators –. The 27th Asia Pacific Tourism Association (APTA) Annual Conference. (Oral presentation)

<学会発表(国内学会)>(査読なし)

宮川えりか・小口孝司 (2021). 職場環境が就労者のリハビリ経験に及ぼす影響 産業・組織心理学会第 36 回大会, 同志社大学, 京都(オンライン)(9月5日)

宮川えりか・小口孝司 (2021). 就労者のリハビリ経験が well-being に及ぼす影響 日本心理学会第 85 回大会, 明星大学, 東京(オンライン)(9月)

川久保惇・小口孝司 (2021). なぜ男性がネイルケアをするのか? ネイルケアが男性ビジネスマンに及ぼす心理的効果の検討 日本心理学会第 85 回大会, 明星大学, 東京(オンライン)(9月)

山口一美・長田悠希・小口孝司 (2021). 東京都におけるマイクロツーリズムの観光動機と観光地選択の関連 日本観光研究学会第 36 回全国大会, 立教大学, 東京(オンライン)(12月5日)

<その他>(査読なし)

川久保惇・小口孝司 (2021) 福島中央テレビゴジてれ Chu! 企画コーナー「西会津町の自然音」への協力(7月14日)

小口孝司 (2021) SBC(信越放送) SBC ニュースワイド 特集「東京五輪で誹謗中傷 西藤選手の思い」における解説(12月20日)

小口孝司 (2022) TBS ニュース 現場から、「アスリートへの誹謗中傷 SNS のあり方とは」における解説(1月7日)

■ 嘉瀬貴祥

<論文>

Kase, T., & Kawagoe, T. (2021). Life skills link to mind wandering among university students: An exploratory study. *Frontiers in Psychology*, 4474.

Yano, K., Kase, T., & Oishi, K. (2021). Sensory processing sensitivity moderates the relationships between life skills and depressive tendencies in university students. *Japanese Psychological Research*, 63, 152-163. (査読あり)

Kase, T. (2021). Construct validity of the 29-item sense of coherence scale: Exploratory analysis of a compatible three factor model using a Rasch measurement model. *Japanese Psychological Research*, 65. (査読あり)

Yano, K., Kase, T., & Oishi, K. (2021). Sensory processing sensitivity moderates the relationships between life skills and depressive tendencies in university students. *Japanese Psychological Research*, 62. (査読あり)

<学会発表>

本田周二・狩野芳伸・嘉瀬貴祥・村中誠司・荒牧英治・嶋田洋徳(2021). 健康心理学研究 における自然言語処理の活用可能性を考える 日本健康心理学会第34回大会(2021年11月15-21日)

■加藤千恵

<招待講演> 加藤千恵. 煉丹術と任脈督脈. 第29回日本鍼灸史学会学術大会(2021年11月27日. 京都教育文化センター)

■滝浪佑紀

<作品評>

滝浪佑紀、「『接吻』における物質性と物語性」『立教映像身体学研究』9号、120-124頁。

<一般向け講演>

滝浪佑紀、「小津映画における劇的なものと抑制」古石場文化センター、全3回(11月20日、11月27日、12月18日)

<新聞書評>

滝浪佑紀、尾形敏朗著『小津安二郎 晩秋の味』、『北日本新聞』1月8日、『岩手日日新聞』1月8日、『島根日日新聞』1月13日、『長野日報』1月18日

■塚本伸一

<論文>

塚本伸一(2021). ソーシャル・サポートと母親の愛着スタイルが育児ストレスに与える影響. 応用心理学研究, 46(3), 247-256. (査読あり)

塚本伸一(2021). 小中学校教師のバーンアウトと教師ストレス、離職願望の関連. 産業ストレス研究, 28(2), 263-274. (査読あり)

■都築誉史

<研究論文>

Tsuzuki, T., Takeda, Y., & Chiba, I. (2021). Influence of divided attention on the attraction effect in multialternative choice. *Judgement and Decision Making*, 16(3), 729-742. (査読あり)

<著書>

都築誉史 (印刷中). 認知・思考—機序と障害—(8. 知覚・認知心理学) 岩壁茂他 (編) 臨床心理学スタンダードテキスト 金剛出版

<学会発表>

Tsuzuki, T., Chiba, I., & Takeda, Y. (2021). Context effects separated by decision-making styles: A time-series saccades analysis. The 32th International Congress of Psychology (ICP 2020+) (online meeting, July 19, 2021). (査読あり)

都築誉史・千葉元気・武田裕司 (2021). 意思決定スタイルによる文脈効果の差異に関する検討: 眼球運動の時系列分析. 日本心理学会第85回大会 (2021年9月1-8日, 明星大学(オンライン開催)).

■長門洋平

<著書(分担執筆)>

長門洋平「映画にとって「物語世界の音」とはなにか——ヤン・シュヴァンクマイエル『アリス』を例に」細川周平編著『音と耳から考える——歴史・身体・テクノロジー』アルテスパブリッシング、2021年10月、450-465頁。

<その他>

長門洋平「『opa*q』(から遠く離れて)」『ユリイカ』2021年6月号、146-152頁。

長門洋平「肉とノイズ——フレデリック・ワイズマン映画の音風景」『ユリイカ』2021年12月号、214-223頁。

長門洋平「アピチャップンの耳、『MEMORIA メモリア』の音」『ユリイカ』2022年3月号、60-70頁。

長門洋平「『ありがとう』の女たち(万田邦敏監督作品評)」『立教映像身体学研究』第9号、2022年、114-119頁。

■日高聡太

<論文>

Suzuishi, Y., and Hidaka, S. (2022). Noninformative vision of body movements can enhance tactile discrimination. *i-Perception*, 13(1), 1–13.

Hidaka, S., Sasaki, K., Kawagoe, T., Asai, N., and Teramoto, W. (2021). Bodily ownership and agency sensations in a natural state. *Scientific Reports*, 11, 8651.

Hidaka, S., Tamè, L., and Longo, M. R. (2021). Tactile interactions in the path of tactile apparent motion. *Cognition*, 209, 104569.

<学会発表(国内学会)>

日高聡太. 共感覚と多感覚統合:個人特異的メカニズムと共通メカニズム「多感覚統合の観点から」. 日本理論心理学会第67回大会(2021年11月27日, 大阪市立大学杉本キャンパス)

【招待講演】

■宮川麻理子

<論文>

宮川麻理子「戦後の舞踊作品における「黒人の表象」を巡って」『舞踊學』第44号、2021年12月、pp. 20-31(査読あり)。

宮川麻理子「たかが1個のカラダ」『ユリイカ』54巻2号、2022年1月、pp. 96-102 (査読なし・招待あり)。

< 評論・報告書 >

宮川麻理子「平原慎太郎の2017-2020年度の活動について」『The Saison Foundation Annual Report 2020(2020年度事業報告書)』公益財団法人セゾン文化財団、pp. 38-39、2021年10月(査読なし・依頼あり)

宮川麻理子「〈らへん〉にあったものこれからあるであろうもの」『Real Tokyo』2022年3月、
<https://www.realtokyo.co.jp/performance/wwf2021/> (査読なし・依頼あり)

宮川麻理子「第15回研究発表集会報告・研究発表4」表象文化論学会ニューズレター『REPERE』44号、2022年3月、<https://www.repre.org/repre/vol44/meeting15/4/> (査読なし・依頼あり)

< 学会発表(国際学会) >

Miyagawa Mariko, «Representations of ‘Black’ or ‘Kokujin’ in Post-War Japanese Dance», EAJS 2021 Conference, Ghent(オンライン開催)、2021年8月28日(査読あり)。

< その他 >

白井愛咲、宮川麻理子「宮川麻理子から白井愛咲へ4つの質問」Webサイト『ダンスドラマトゥルギー』(ダンスドラマトゥルギーテキストコレクション)2021年5月掲載、
<http://www.dancedramaturgy.org/articles/J5.html> (査読なし・依頼あり)